

ILSI Japan 活動報告 < 8 >

【部会・分科会活動報告】 2007年11,12月度

食 品 安 全 研 究 会	食品安全調査研究部会	e-mail 情報の発信： ・第19報「三菱総研が食品の回収・廃棄と安全・安心に関する研究プロジェクトを立ち上げ」について ・部会会合等：なし
	食品アレルギー研究部会	メールにて来期活動希望収集と1月例会の日程調整。
	食品微生物研究部会	12月20日第5回全体集会開催 厚生労働科学研究費（国立医薬品・食品研究所とのカビ（毒）の協同研究）に関する議論 （カビ（毒）ハンドブック出版を前提にして）
	食品リスク研究部会	1) サテライト・シンポジウム開催（11/2, 9:30 - 17:30）国連大学ウ・タント国際会議場 ・当部会より15名が運営係としてシンポジウムを支援 ・午前の部の講演の概要報告をイルシー誌に投稿 2) 第6回部会運営会議開催（12/10, 15:00 - 17:00）ILSI Japan 事務局会議室 議題1：健康食品の安全性確保に関する日健栄協検討会および厚労省検討会の状況報告 議題2：2007年度部会活動総括 議題3：2008年度新三役の選出と活動計画案について <次回運営会議：2/18, 13:30 - 16:30>
	バイオテクノロジー研究部会	報告なし
	香料研究部会	・11/9開催のフレーバーの安全性評価に関するシンポジウム（日本香料工業会・IOFI共催）案内を配信、部会から数名参加。 ・部会会合なし
	食品安全研究会全体	サテライト・シンポジウム同時通訳者との打合せ 11/1 サテライト・シンポジウム（国連大学）11/2 洋酒技術研究会での講演「ILSI Japan 食品安全研究会活動」12/6 事務局会議、第4回理事会 12/7、役員選考委員会 12/13
栄 養 健 康 研 究 会	栄養研究部会	11月12日に第5回「栄養とエイジング」国際会議の反省会を実施した。 また、イルシー誌へのプロシーディングス原稿掲載に向けて準備を進めた。
	肥満タスクフォース	「日本人の肥満の現状」の出版に向けて、最終校正中。
	炭水化物研究部会	GRプロジェクトと、二つの分科会（果糖分科会、ダイエット分科会）を中心に、活動を進める。炭水化物の摂取と健康（肥満、生活習慣病）との関係を、ILSI Japan として明確にすることを目標としている。
	GRプロジェクト	12月17日に、GRプロジェクトの3カ年の活動報告を行う。食品総合研究所、石巻専修大学、参加企業それぞれの関係者が出席し、これまでの研究開発のまとめと今後の課題について議論を重ねた。
	果糖分科会	現在までの分科会において、分科会メンバーで分担してまとめたPubMedによる文献 果糖批判の中心的な <i>Am. J. Clin. Nutr.</i> の文献について、一覧にする作業を開始した。

	ダイエット分科会	11月14日第3回分科会を開催。GIと摂食量、満腹感の関係を調査したヒト介入試験の論文2報の内容紹介。今後、低GIの方が満腹感が持続するというメカニズムに関する論文の検索も行うこととした。着地点としては、「低GI食は満腹感を持続あるいは食欲を抑制させること、ならびにその想定メカニズム」に関して総説にまとめて投稿することを考えている。
	茶類研究部会	11月3日世界お茶学術会議(ICOS)でのILSI Japan主催のワークショップを開催した。約50人の参加で、海外からの1題を含む4題の講演で活発な質疑応答があった。茶部会の活動も紹介した。
	日本の食生活と肥満研究部会	10月30日にILSI本部John Ruff会長に本研究部会の活動概況を説明。11,12月は研究部会の全体会は開催しなかった。1月17日の次回全体会に向けて分科会活動をおこなった。
	発酵製品の多様性分科会	
	脂質の種類分科会	
	食事の量分科会	
	食品機能性研究会	特記事項なし
C H P	CHP	12/4~16 JICA 地球ひろばポスター展示(港区広尾) 12/7 CHP 活動報告会(＃)
	Project PAN (Physical Activity and Nutrition)	テイクテン(TAKE10!) 11/8,13,15,20,22,28 すみだテイクテン フォローアップ料理教室 (墨田区、協力:味の素株式会社) 11/2,5,7,21,26,30 すみだテイクテン第3期講習会 (墨田区業平、緑、文花) 11/14,28 テイクテン料理冊子用撮影(渋谷区池尻) 11/21,22 ふそうテイクテン(講師:木村美佳、愛知・扶桑町) 12/10,11,13,20,21,26 すみだテイクテンフォローアップ教室(墨田区) 12/3,4,5,17,19,25 すみだテイクテン第3期講習会 (墨田区押上、墨田、亀沢) 12/4 江戸川総合人生大学講演(講師:木村美佳、江戸川区) 12/25,26 ふそうテイクテン(講師:木村美佳、愛知・扶桑町) リズムテン(LiSM10!) 12/6 LiSM10!事業化説明会
	Project SWAN (Safe Water and Nutrition)	11/1 コントロール群の現場調査および介入群にて料理教室 (クワンチュン村、ベトナム) 12/14~16 水処理施設に関する技術トレーニング (クワンチュン村、ベトナム)
	Project IDEA (Iron Deficiency Elimination Action)	特記事項なし
	国際協力委員会	特記事項なし
	情報委員会	委員会開催1回(12月)。 日常業務としてのホームページ更新、What's ILSI 英文版作成作業。 最新栄養学9版日本語翻訳版および栄養学レビュー2007年 summer号(通巻60号)& autumn号(通巻61号)発刊。

	ILSI Europe モノグラフシリーズ「食物繊維」翻訳版作成進行中。
編集部会	「イルシー」誌 92 号編集作業、「イルシー」誌 93 号執筆者選定および執筆依頼発信、「イルシー」誌 94 号「第 5 回「栄養とエイジング」国際会議プロシーディングス号」編集作業。

【講演会・シンポジウムご案内】

講演会名	案内	担当研究部会

【事務局からのお知らせ】

運営委員会	
執行委員会	<p>平成 19 年度第 7 回執行委員会が 12 月 7 日に開催された。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 次期役員選考プロセス検討委員会 平成 20 年の 2 月 19 日に開催予定の ILSI Japan の総会で任期切れになる役員の改選に関し、次期役員選考プロセス検討委員会により作成された選考プロセスに関わる最終報告書の内容と、次のステップとして実際の候補を選ぶ選考委員会が設置されたことが報告され、議論の結果承認された。 2. ILSI Board of Trustees Nominees 現在 ILSI 本部役員は、日本、韓国、中国の枠に与えられている 4 名を本部に対する貢献度の高さから、日本が独占している。その内の 1 名が来年の本部総会で任期切れとなるため、Industry Trustee の中から 1 名推薦して欲しいとの本部からの要請に基づき議論の結果、中、韓国との将来的なコラボレーションも考慮に入れ、日本としては中国か韓国に 1 名渡すこととし、同時に中国の Dr. Junshi Chen を推薦することとした。 <p>平成 19 年度第 8 回執行委員会が 12 月 28 日に開催された。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 東京大学寄付講座継続（第 2 期）について 平成 20 年をもって、当寄付講座は終了するが、東京大学より継続（第 2 期）の提案があり、議論の結果、早い時点で大学よりの提案の内容を ILSI Japan として現在検討中であるという注釈つきで会員に送ることになった。 2. 特別会費の件 現在の特別会費に代わる、情報発信のための特別事業の基金を設け、そのための委員会を作り、拠出会員に参加してもらった提案書を作り、募集することになった。 3. 「最新栄養学」日本語版の契約について 「最新栄養学」の出版にあたって、ILSI Japan と健帛社および ILSI Japan と ILSI 本部の間で出版契約をそれぞれ締結する必要があるため審議して欲しいとの要請があり承認された。 4. CHP-The Food and Nutrition Research Foundation “Market trial of Iron Fortified Rice in the Philippines” Nov. 1, 2007 ~ Oct. 31, 2009 の期間でフィリピンで鉄強化米を Test Market として出すための費用の一部を ILSI Japan CHP が負

	<p>担をする事業に関して、3年間の Commitment になることに関して、審議の提案があり、特に異議がなく承認された。</p> <p>報告事項</p> <p>1 . ILSI Board of Trustees Nominees 前回の執行委員会での ILSI Board of Trustees Nominees に関する審議の結論として日本としては中国・韓国に1名渡すこととし、同時に中国の Dr. Junshi Chen を推薦することになったが、本部から当人は Industry ではなく今回の推薦の対象にならないので韓国から推薦するようにとの連絡があり、韓国からは Dr. Ik-Boo Kwon の推薦があったことが報告された。</p> <p>2 . 次期役員選考プロセス検討委員会の最終報告書修正と第1回選考委員会の内容と経過について 報告書の修正の報告と今後の予定として、すでに次期役員推薦の依頼が全評議委員に出され、1月10日に選考委員会が開催されることが報告された。</p> <p>3 . 「国立健康・栄養研究所」廃止について 桑田委員より国立健康・栄養研究所が廃止されることに関して、メディア・経団連等を通じて継続に向けての情報発信の努力をしていることが報告された。</p> <p>4 . 2008年本部総会 Japan Session 1/18 から 1/24 まで開催される本部総会に関して、1/20 の Poster Session へ茶部会より出展したいとの申し込みがあったことが報告され、1/22 の Luncheon Meeting では、「日本の食生活」、「機能性ゲノミックス」、「CHP の事業の Business Model について」および「今年の活動成果と来年の方向」について発表することになった。</p> <p>5 . その他</p> <p>(1) 石井委員が ILSI 本部の要請により Annual Meeting で5分 Speech をすることになったことと、日本の代表としてではない Research Foundation の Board Member になるようにとの要請があったことが報告された。</p> <p>(2) Research Fund の使われ方に関するレポートが本部から来ていることが報告され今後、日本の活動は Proposal に値する内容なので、応募すべきだとの意見があった。</p> <p>(3) 本部総会で日本の研究者からの Presentation がないので、日本からも阿部先生や荒尾先生のような人を Program 委員会に推薦すべきだという意見があった。</p>
理事会	<p>平成 19 年度第 4 回理事会が 12 月 7 日に開催された。</p> <p>議案 1 . ILSI Board of Trustees Nominees 日本は現在 ILSI 本部の理事として 4 名の枠を持っていて、来年の 1 月で産業会代表の 1 名分が任期切れになる。この枠は日本・韓国・中国の 3 国に与えられたものであるが日本が 4 名分を全て持っている。執行委員会の結論としては、今回の本部からの改選の依頼にあたっては日本から推薦を出さずに中国・韓国に委ね、どちらかという中国代表を推薦することになったとの報告があり承認された。</p> <p>議案 2 . 東京大学寄附講座継続（第 2 期）について 来年の 11 月で第 1 期の東京大学寄附講座が終了するが、東京大学</p>

	<p>の阿部先生からは第2期として継続したいとの要望があった。しかし、そのためには年内に計画を発表して、会員企業に参加を募る必要があり、今後のスケジュールとしては、来年1月には会員企業にお誘いの手紙を出し、2、3月中に締め切りたいとの提案があった。議論の結果、1社平均2百万ぐらいの参加費で目標総額3千万円ぐらいにして会員企業に呼びかけることになった。</p> <p>議案3．2008年度本部総会（役員の派遣）</p> <p>1月18日より24日までプエリトリコにて2008年度本部総会が予定され、1月22日に開催されるILSI Japan Lunch Meetingについては、今年10月30日に開催されたILSI本部会長Mr. John Ruffとの会合でのPresentationと同じテーマでやるつもりであるが、ILSI本部の戦略を知りたい機会なので、役員にも参加して欲しいとの呼びかけがあった。パブリックの役員の費用については事務局で予算化することが承認された。</p> <p>報告事項</p> <p>1．役員選考プロセス検討委員会</p> <p>平成20年のILSI Japanの総会で現在の役員は任期が切れになるが、今回の改選にあたり、透明性の高いプロセスを作ることになり、役員選考プロセス検討委員会にどうやって決めるかを議論してもらい、その報告書をまとめてもらった。</p> <p>次のステップとして、12月中に選考委員会が動き出し、メンバー企業に推薦を依頼し、1月に原案を作りその後、執行委員会と理事会に提案し、2月の総会で承認をとるスケジュールである事が報告された。</p> <p>2．第5回「栄養とエイジング」国際会議</p> <p>今年開催された第5回「栄養とエイジング」国際会議とサテライトシンポジウムに関しての収支決算が報告された。</p> <p>今後のこの国際会議について日本で継続する必要があるのかそろそろ議論する必要があり、継続するにしても長期的な資金の調達の努力が必要である事も報告された。</p> <p>3．機能性食品の制度に関わる問題提議があり議論がされた。</p> <p>4．平成20年度第1回理事会とILSI Japan 総会、ライフサイエンスシンポジウム日程</p> <p>平成20年度通常総会が2月19日の午前中に予定されていて、引き続き同じ会場で午後からライフサイエンス・シンポジウムを開催する予定であるが、東大阿部先生の冠講座に関する講演を基調講演として、徳島大、静岡大、富山大、食総研にも講演を依頼することになった。</p> <p>5．洋酒技術研究会会議の報告</p> <p>洋酒技術研究会12月例会にて「ILSI Japan 食品安全研究会活動概要」についてPresentationをしたことが報告され、引き続き、厚生労働科学研究費の予算が国立栄研においてその予算を使ってする研究「清涼飲料におけるカビ（毒）・酵母汚染研究」に食品微生物研究部会のメンバーがILSIとして研究メンバーに加わり、研究費をもらいながら、提案された課題を食品微生物研究部会で分担研究することになったことが報告され、承認された。</p>
事務局	特になし

